資料６

環境省
Ministry of the Environment

# 自動車の購入及び賃貸借に係る契約における燃費目標値の考え方について

令和８年度環境配慮契約法基本方針検討会（第２回）

令和８年11月24日
環境省　環境経済課

# 環境配慮契約法における自動車契約方式

■ 自動車の購入及び賃貸借に係る契約については、**総合評価落札方式（除算方式）を採用**し、価格以外の要素として**評価する環境性能は「燃費（km/L）※」**である。

■ **総合評価落札方式の対象車種はハイブリッド車のみ**であり、その他の電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車については、契約方式は指定していない。

※燃費：燃料１ﾘｯﾄﾙ当たりの走行距離（km）

【総合評価落札方式（除算方式）】

$$評価値 = \frac{得点（標準点＋加算点）}{入札価格点}$$

※標準点の満点：100点、加算点の満点：50点

$$加算点 = 加算点の満点 \times \frac{提案車の燃費 - 燃費基準値}{燃費目標値 - 燃費基準値}$$

現状燃費基準値の２倍

現状80%
⇒エコカー減税基準85%

■ 論点①

現状、燃費目標値を達成できている車（加算点の満点を獲得できる車）はなく、現在販売されている車の中で、燃費の良い車がより高い点数を獲得できるようにするため、燃費目標値を２倍から1.7倍などに引き下げてはどうか。

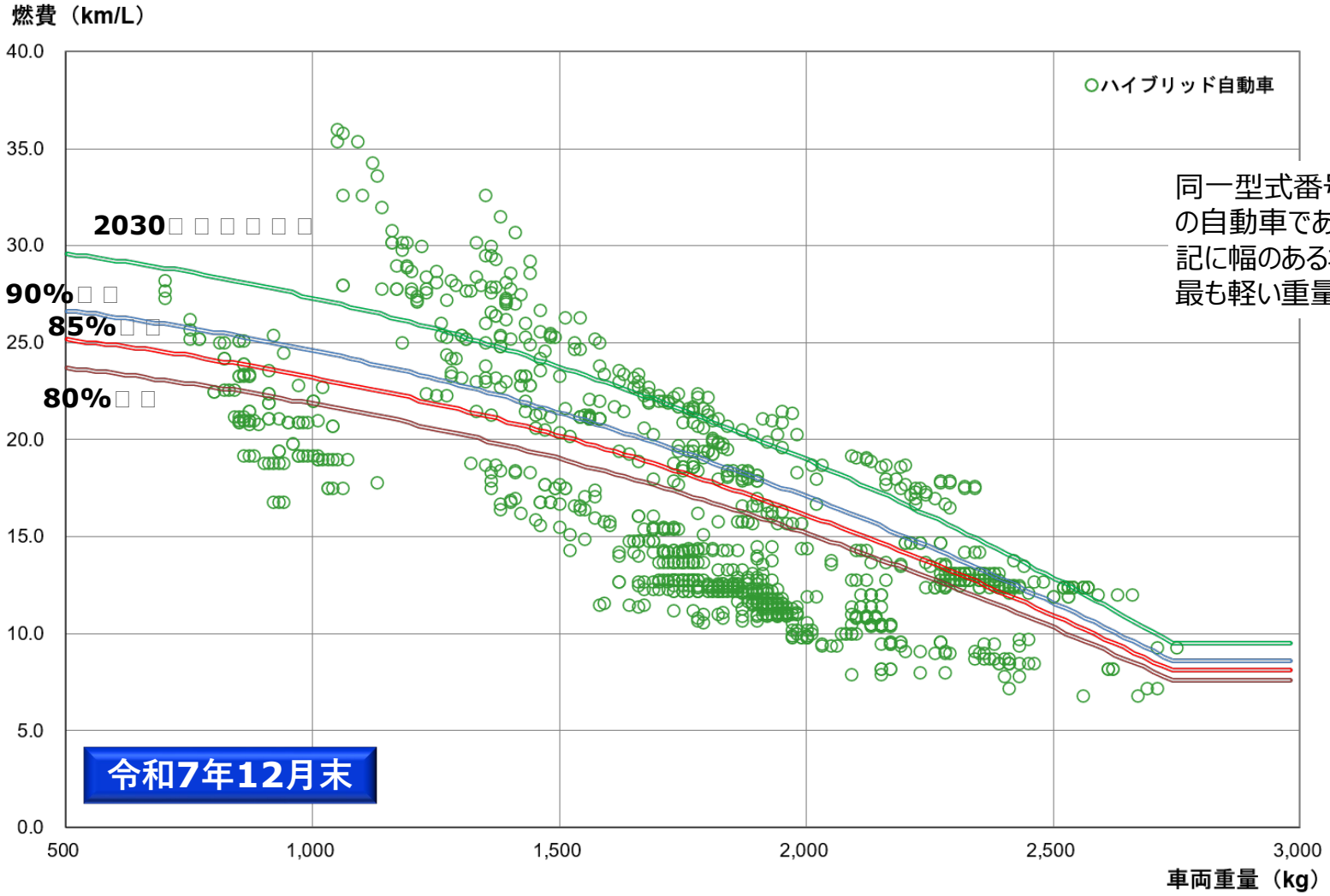
■論点②

軽自動車については、燃費基準達成車が通常の乗用車と比較して、少ない傾向にある。軽自動車の中で比較した際に、燃費の良い自動車がより高い点数を獲得できるように、燃費目標値の設定を軽自動車と普通乗用車で分けてはどうか（普通自動車は燃費基準値の1.7倍、軽自動車は1.3倍など）。

# ハイブリッド乗用車の車両重量別燃費（WLTCモード）

■ グリーン購入法基本方針改定案（令和９年改定予定）では、エコカー減税に整合し、燃費基準値を80%から85%に引き上げ予定。

（燃費目標値２倍）満点の場合170％達成が必要
（燃費46.4）

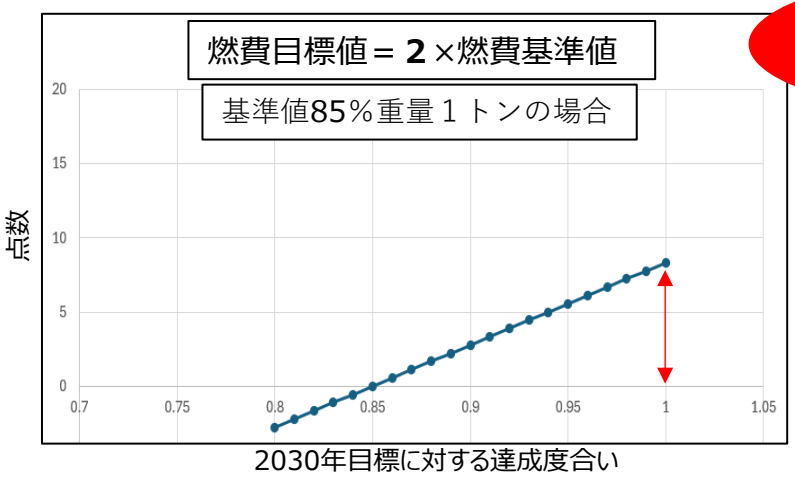



同一型式番号・類別区分番号の自動車であって車両重量の表記に幅のある場合は車両重量の最も軽い重量により評価

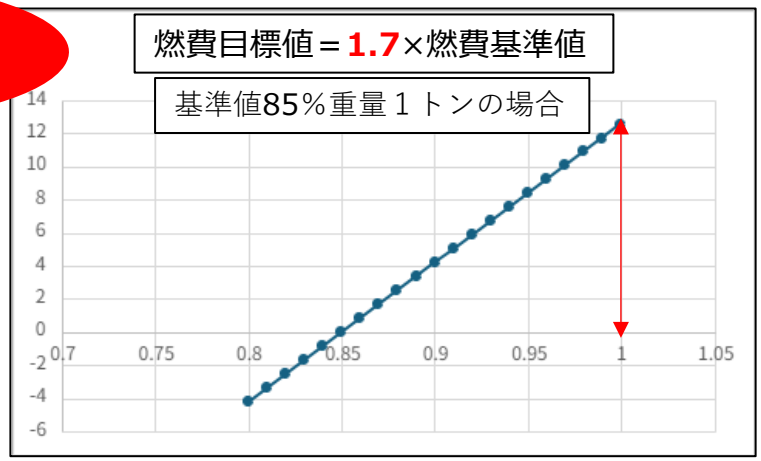
資料：国土交通省「自動車燃費一覧」（令和8年3月）より作成

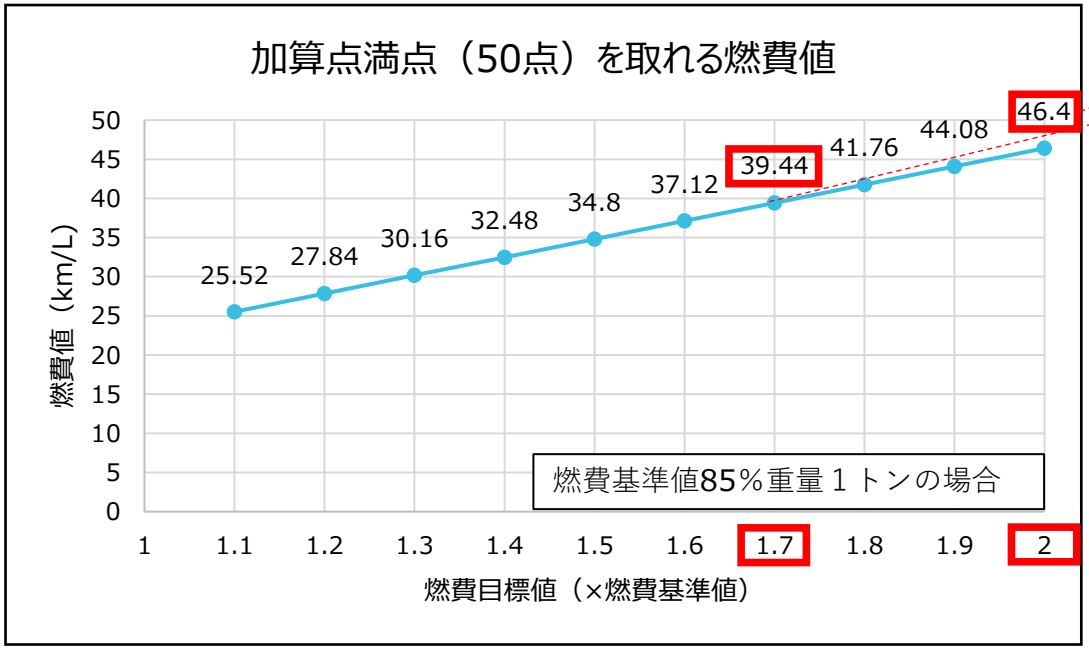
# 燃費目標値の検討

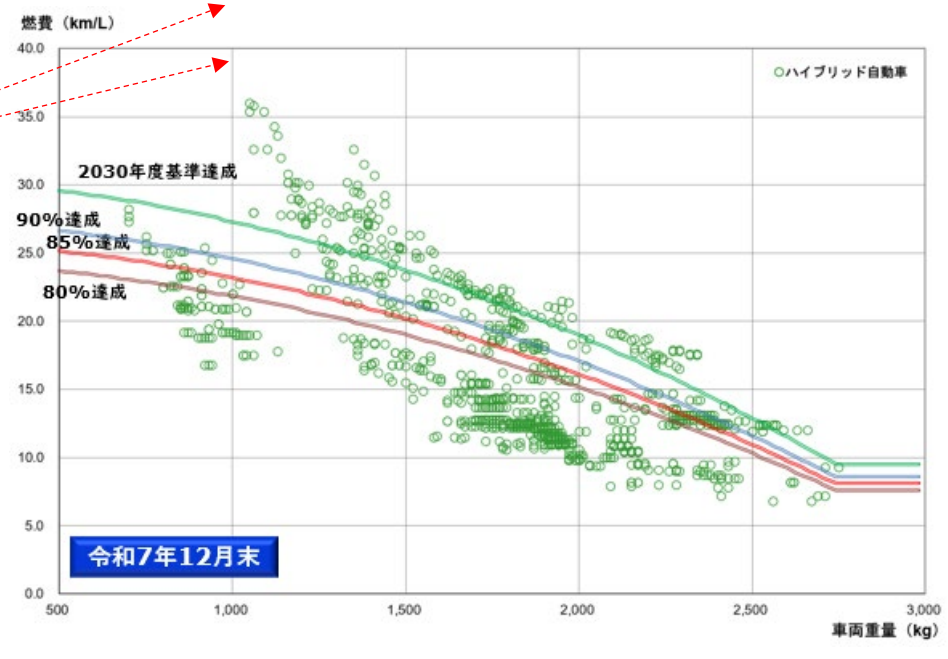
■　論点①
燃費目標値を２倍から引き下げてはどうか。引き下げる値は**1.7倍**としてはどうか。
燃費目標値が燃費基準値の２倍（現状）の場合、提案車の燃費が46.4km/L以上(2030年度達成基準の170%)であれば、加算点の満点である50点を獲得できるが、この基準を満たす乗用車は現状存在しない。




燃費目標値を下げることで
より差が付きやすくなる

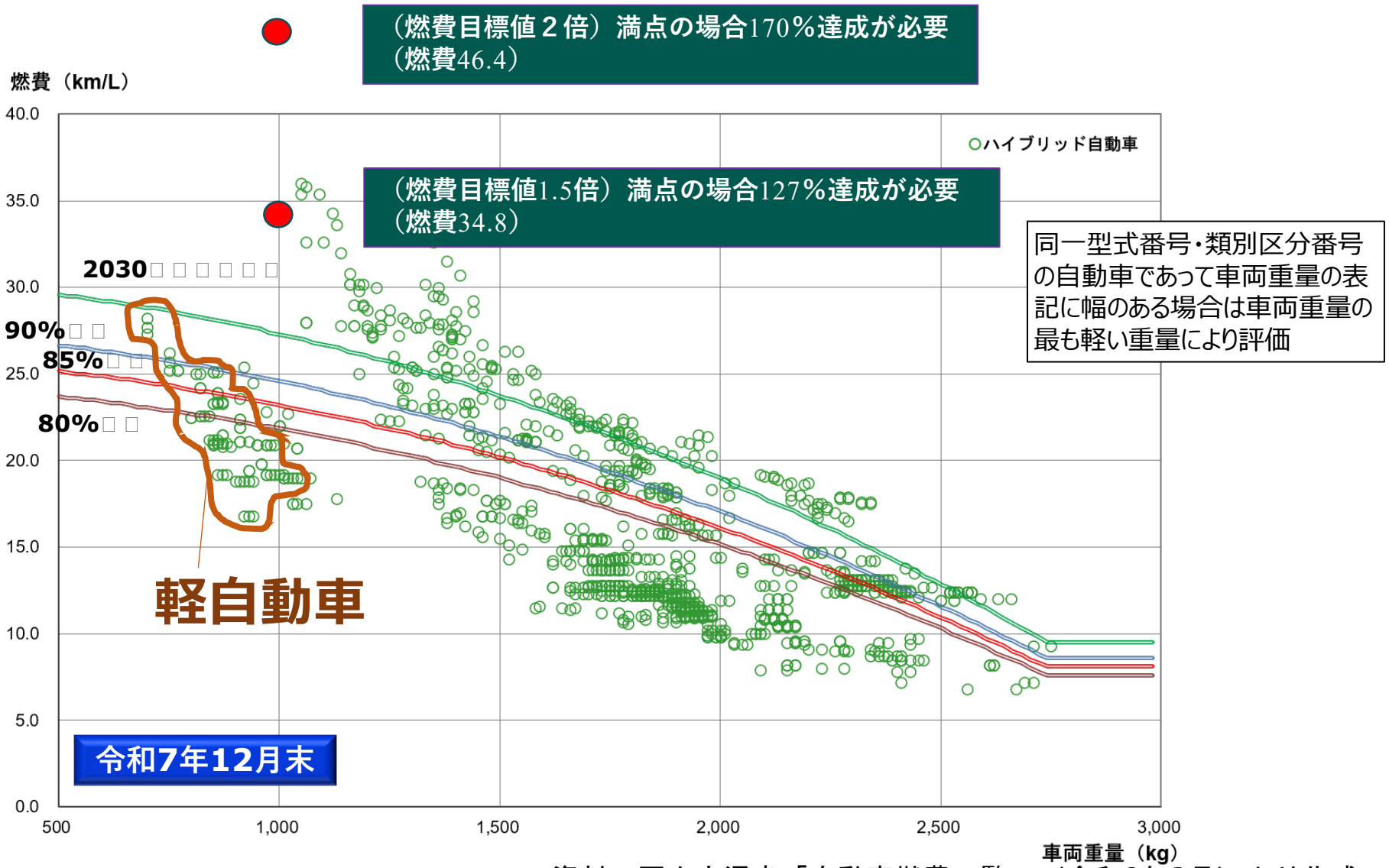


# （再掲）ハイブリッド乗用車の車両重量別燃費（WLTCモード）

■ 軽自動車の半数以上が85%目標を達成できていない。



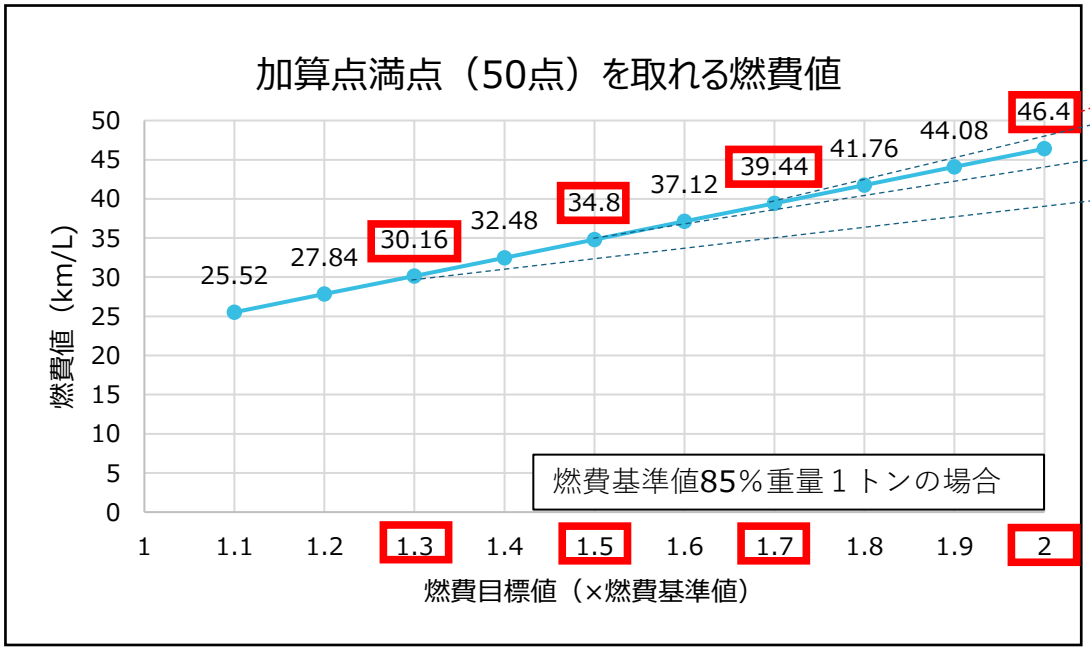

同一型式番号・類別区分番号の自動車であって車両重量の表記に幅のある場合は車両重量の最も軽い重量により評価

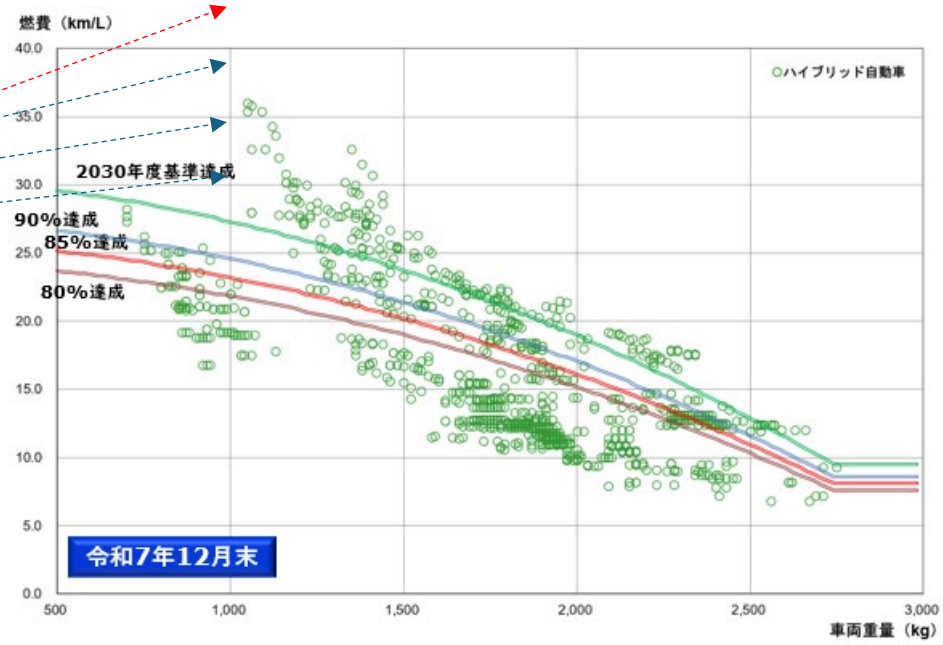
資料：国土交通省「自動車燃費一覧」（令和8年3月）より作成

# 燃費目標値の検討

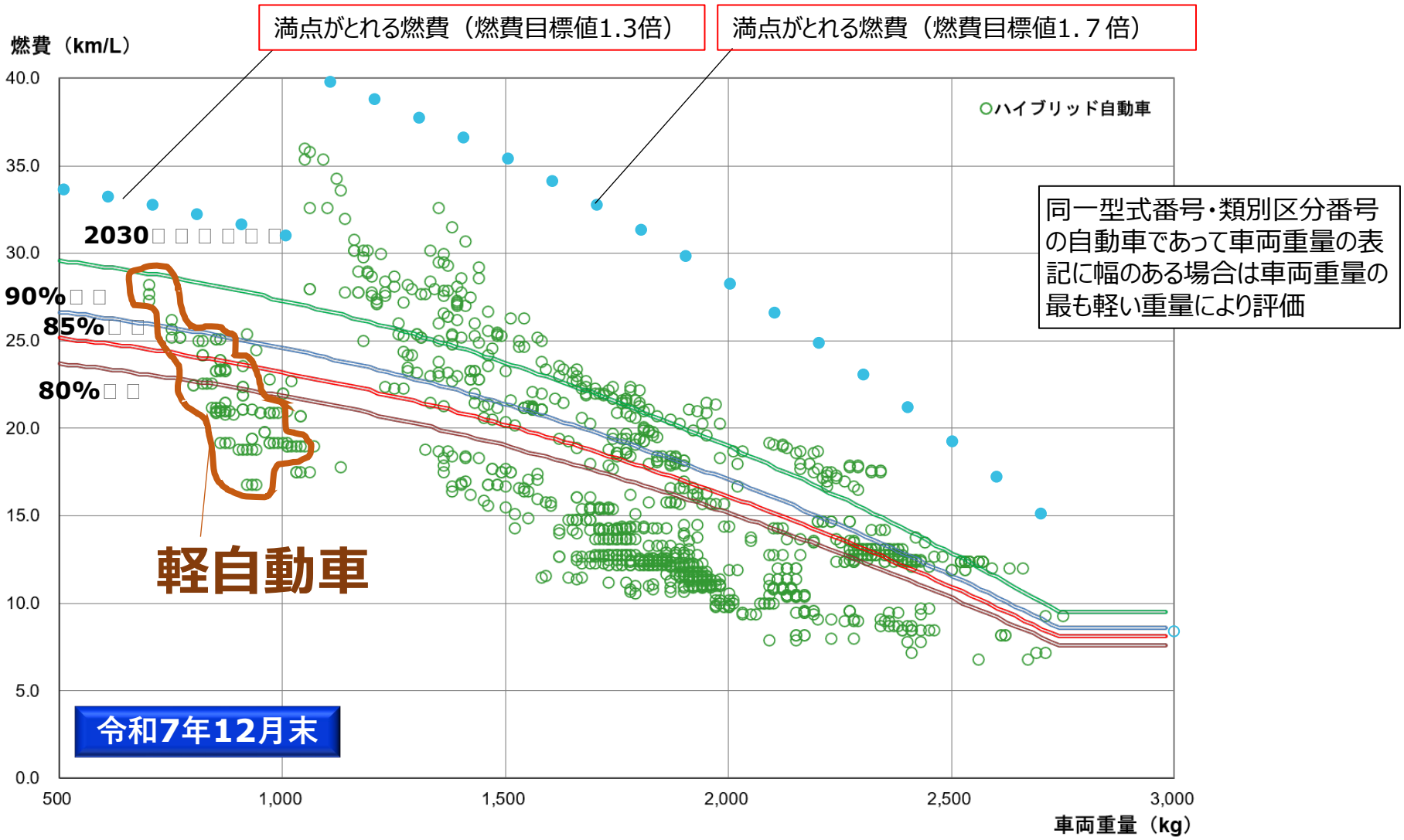
■ 論点②

軽自動車については、燃費基準達成車が通常の乗用車と比較して、少ない傾向にある。軽自動車の中で比較した際に、燃費の良い自動車がより高い点数を獲得できるように、燃費目標値の設定を軽自動車と普通乗用車で分けてはどうか。
軽自動車を調達する場合には、燃費目標値の設定を**２倍から1.3倍**にしてはどうか。



# 燃費目標値設定 イメージ図




資料：国土交通省「自動車燃費一覧」（令和8年3月）より作成